

日韓トンネル

「影響客観的検証を」

韓国海洋大朴教授が研究着手

地域振興、採算性など探る



から

九州北部と韓国南部を結ぶ日韓海底トンネルが建設された場合、韓国や釜山市に及ぼす影響について、同市の韓国海洋大物量システム工学科の朴

同トンネルは、佐賀県唐津市周辺から壱岐、対

釜山に及ぼす影響について、同市の韓国海洋大物量システム工学科の朴

釜山に及ぼす影響について、同市の韓国海洋大物量システム工学科の朴

釜山に及ぼす影響について、同市の韓国海洋大物量システム工学科の朴

釜山に及ぼす影響について、同市の韓国海洋大物量システム工学科の朴

眞希教授(物流計画)が馬を經由し、釜山周辺に研究を始めた。今後、一

経緯もあり、「物流の通過点になる」と否定的な声も強く、研究や議論は進んでいない。

朴教授は「交通研究院の報告はデータの裏付けが薄い」と指摘。「韓国が北東アジアの物流ビジネスの中心国家となるために、さまざまな可能性を考えなければいけない。特にトン

釜山に及ぼす影響について、同市の韓国海洋大物量システム工学科の朴



釜山を中心に、波及効果を研究したい」と話し、客観的なデータを基に建設の是非を判断する必要性を強調した。

釜山に及ぼす影響について、同市の韓国海洋大物量システム工学科の朴